

**「建物被害認定調査から被災者台帳を用いた
攻めの生活再建支援までを一貫して行えるシステム」公開のお知らせ**
第 14 回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」横浜

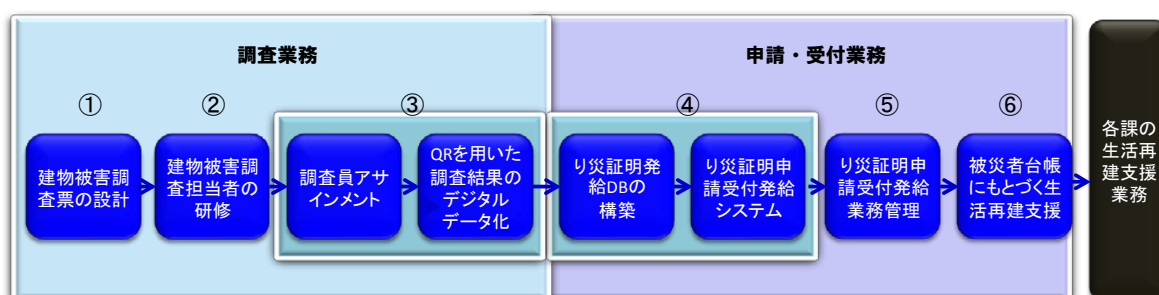
京都大学防災研究所

林 春男

効果的な生活再建の実現には、被災者台帳にもとづいて個々の被災者のニーズに応じた総合的な施策を全庁的に推進することが必要になります。その前提として、建物被害認定調査から災証明発給までの業務があります。われわれの研究チームでは GIS を活用したシステムの開発を進め、2004 年の新潟県中越地震の際に小千谷市を皮切りに、2007 年の能登半島地震の際の輪島市、同じく 2007 年の新潟県中越沖地震の際の柏崎市での災害対応に活用されてきました。その結果、「建物被害認定調査から被災者台帳を用いた攻めの生活再建支援までを一貫して行えるシステム」のプロトタイプを完成することができました。

首都直下地震で予想される膨大な被災者の認定業務では、効率的な業務遂行が必要不可欠となります。そこで、私たちのシステムを災害復興期の生活再建業務の効率化に関心を持つ関係者の方に実演を交えて見ていただく機会として、このたび平成 22 年 2 月 4・5 の両日横浜で開催されます第 14 回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」横浜に出展することにいたしました。

以下にお示しする 6 つの内容について、展示形式でご紹介いたします。2 月 4 日午後 2 時から、全体概要について講演もさせていただきます。是非、現地に足を運んで頂き、積極的にご質問等いただき情報交換できれば幸いです。



① 建物被害調査票の設計

堀江 啓（ほりえ けい）（株）インターリスク総研 事業企画部

② 建物被害調査担当者の研修

田中 聡（たなか さとし）富士常葉大学 環境防災学部

③ QR を用いた調査結果のデジタルデータ化

東田 光裕（ひがしだ みつひろ）NTT 環境エネルギー研究所

松下 靖（まつした やすし）デュプロ株式会社 システム開発課

④ り災証明申請受付発給システムり災証明申請受付発給システム

松岡 克行（まつおか かつゆき）株式会社エクシード

濱本 両太（はまもと りょうた）（株）ESRI ジャパン

浦川 豪（うらかわ ごう）京都大学 生存基盤科学研究ユニット

⑤ り災証明発給業務マネジメント

田村 圭子（たむら けいこ）新潟大学 危機管理室・災害復興科学センター

⑥ 被災者台帳にもとづく生活再建支援

井ノ口 宗成（いのぐちむねなり）新潟大学 災害復興科学センター

第 14 回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」横浜

期日：2010 年 2 月 4 日（木）～2 月 5 日（金）

場所：パシフィコ横浜

展示：展示ホール B／アネックスホール

公開プレゼンテーション：2 月 4 日（木）14：00～14：45

（林 春男 京都大学防災研究所）

公式HP：<http://www.exhibitiontech.com/etec/>